

平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年7月31日

上場会社名 メタウォーター株式会社
 コード番号 9551 URL <http://www.metawater.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 靖

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務企画室長 (氏名) 中川 雅幸

TEL 03-6853-7317

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	10,202	9.1	2,822		2,823		1,995	
29年3月期第1四半期	11,219	47.1	2,469		2,779		1,311	

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 2,304百万円 (%) 29年3月期第1四半期 1,337百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	76.96	
29年3月期第1四半期	50.60	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	110,594	49,199	44.4
29年3月期	120,961	52,260	43.1

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 49,079百万円 29年3月期 52,142百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		29.00		29.00	58.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		29.00		29.00	58.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	115,000	3.0	6,500	2.7	6,400	2.4	4,200	11.4	162.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	25,923,500 株	29年3月期	25,923,500 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	44 株	29年3月期	44 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	25,923,456 株	29年3月期1Q	25,923,500 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予想内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は将来予想に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済状況は、政府の経済政策や金融政策により、雇用・所得環境の改善が続くなか、緩やかな回復基調が続きました。また、世界の経済状況は、欧州の政治情勢や米国政権の不確実性による影響が懸念されたものの、緩やかな回復が続きました。

当社グループを取り巻く国内事業環境においては、公共投資の減少傾向と、人手不足に起因する人件費の高騰及び土木・建築工事の遅れ等により、引き続き厳しい状況が続きました。

このような状況のなか、当社グループは、中期経営計画（平成28年3月期～平成30年3月期）の基本方針に基づき、当期も引き続き基盤分野である国内のEPC(注1)事業及びO&M(注2)事業の強化と、成長分野と位置付けるPPP(注3)事業及び海外事業の拡大に注力し、「変化を先取りし、成長し続ける企業」を目指してまいります。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績については、売上高は102億2百万円（前年同期比9.1%減）、営業損失は28億22百万円（前年同期は営業損失24億69百万円）、経常損失は28億23百万円（前年同期は経常損失27億79百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は19億95百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失13億11百万円）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失の増加は、前第1四半期連結累計期間が米子会社における税効果の影響により好転したことによるものです。

当社グループの事業の特徴として、官公庁向けの国内公共事業が大半を占めていることから、売上の計上が第4四半期連結会計期間に著しく偏り、第1四半期連結累計期間の業績は低い水準となる傾向があります。なお、受注高は、10億円以上の大型案件の受注等により、354億円（前年同期比47.3%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

(プラントエンジニアリング事業)

プラントエンジニアリング事業においては、国内EPC事業の大型の売上案件及びAqua-Aerobic Systems, Inc.の出荷が低調に推移したことにより、売上高は67億32百万円（前年同期比10.4%減）、営業損失は18億4百万円（前年同期は営業損失16億30百万円）となりました。また、受注高は126億10百万円（前年同期比30.9%増）となりました。

(サービスソリューション事業)

サービスソリューション事業においては、O&M事業の完工案件が低調に推移したことにより、売上高は34億70百万円（前年同期比6.3%減）、営業損失は10億18百万円（前年同期は営業損失8億38百万円）となりました。また、受注高は227億90百万円（前年同期比58.3%増）となりました。

- (注) 1. EPC(Engineering, Procurement and Construction)：設計・調達・建設
2. O&M(Operation and Maintenance)：運転・維持管理
3. PPP(Public-Private Partnership)：公共サービスの提供に民間が参画する手法

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ103億66百万円減少し、1,105億94百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が増加しましたが、受取手形及び売掛金が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ99億37百万円減少し、936億43百万円となりました。

固定資産は、のれんが減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ4億29百万円減少し、169億50百万円となりました。

流動負債は、前受金が増加しましたが、買掛金が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ69億28百万円減少し、416億1百万円となりました。

固定負債は、PFI等プロジェクトファイナンス・ローンが減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ3億77百万円減少し、197億92百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び配当金の支払などにより、前連結会計年度末に比べ30億60百万円減少し、491億99百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期連結業績につきましては、平成29年4月26日発表の予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,230	48,456
受取手形及び売掛金	67,946	30,538
仕掛品	3,119	6,349
貯蔵品	4,127	4,401
その他	4,155	3,897
流動資産合計	103,580	93,643
固定資産		
有形固定資産	3,059	2,982
無形固定資産		
のれん	2,045	1,935
顧客関連資産	3,044	2,886
その他	3,069	2,872
無形固定資産合計	8,160	7,694
投資その他の資産	6,160	6,274
固定資産合計	17,380	16,950
資産合計	120,961	110,594

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	20,037	5,947
電子記録債務	7,637	12,898
短期借入金	284	284
1年内返済予定のPFI等プロジェクトファイナ ンス・ローン	825	829
未払法人税等	2,367	52
前受金	8,672	16,125
完成工事補償引当金	1,063	1,012
受注工事損失引当金	167	152
その他	7,474	4,297
流動負債合計	48,530	41,601
固定負債		
長期借入金	2,436	2,428
PFI等プロジェクトファイナンス・ローン	12,382	12,016
退職給付に係る負債	5,350	5,347
固定負債合計	20,170	19,792
負債合計	68,700	61,394
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,946	11,946
資本剰余金	15,080	15,080
利益剰余金	27,787	25,037
自己株式	△0	△0
株主資本合計	54,814	52,064
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32	33
為替換算調整勘定	133	△300
退職給付に係る調整累計額	△2,838	△2,718
その他の包括利益累計額合計	△2,671	△2,985
非支配株主持分	117	120
純資産合計	52,260	49,199
負債純資産合計	120,961	110,594

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	11,219	10,202
売上原価	9,865	9,231
売上総利益	1,354	970
販売費及び一般管理費	3,823	3,793
営業損失(△)	△2,469	△2,822
営業外収益		
受取利息	59	49
受取配当金	36	32
その他	7	1
営業外収益合計	103	83
営業外費用		
支払利息	62	55
固定資産処分損	10	18
為替差損	341	11
その他	0	0
営業外費用合計	414	85
経常損失(△)	△2,779	△2,823
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,779	△2,823
法人税等	△1,472	△833
四半期純損失(△)	△1,306	△1,990
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	4
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,311	△1,995

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純損失(△)	△1,306	△1,990
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	0
為替換算調整勘定	△154	△434
退職給付に係る調整額	127	120
その他の包括利益合計	△30	△314
四半期包括利益	△1,337	△2,304
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,342	△2,309
非支配株主に係る四半期包括利益	5	4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第1四半期連結累計期間
(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラントエンジニアリング事業	サービスソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,515	3,704	11,219	—	11,219
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,515	3,704	11,219	—	11,219
セグメント損失(△)	△1,630	△838	△2,469	—	△2,469

(注) セグメント損失は営業損失ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業損失の数値との間に差異はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラントエンジニアリング事業	サービスソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,732	3,470	10,202	—	10,202
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,732	3,470	10,202	—	10,202
セグメント損失(△)	△1,804	△1,018	△2,822	—	△2,822

(注) セグメント損失は営業損失ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業損失の数値との間に差異はありません。